

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

「病」を通して見た日本の社会及び文化の研究をテーマとします。まず、社会病理に関しては、個人、家庭、学校、地域の4つの病理が考えられます。個人病理では少年犯罪、自殺などを、家庭病理では離婚、夫婦間暴力などを、学校病理では校内暴力やいじめなどを、地域病理としては公害や市町村合併、ゴミ問題などを扱います。

また、病を通しての文化研究としては、心の病を描いた文学作品を扱います。具体的には摂食障害を扱った松本佑子『巨食症の明けない夜明け』、引き籠もりを扱った田口ランディ『コンセント』、EDを扱った新井満『尋ね人の時間』、知識人の心の闇を描いた夏目漱石『行人』、芥川龍之介『歯車』、幻視、幻聴の世界を描いた色川武大『狂人日記』、あるいは癒しを描いたとも考えられる石川啄木短歌や志賀直哉『暗夜行路』等です。

◆ **研究内容**

<原典研究>

池田功著『新版こころの病の文化史』（おうふう）に従い、明治時代からの心の病を扱った文章を読み、文化、社会、家庭などの問題を考えます。

<卒業論文・3年次>

春学期は「政経セミナー」に載せるための共同研究をします。1期生は「少年法改正と少年犯罪」で、2期生は「自殺」を、3期生は「フリーター・ニートを考える」を、4期生は「教育問題を考える」を、5期生は「家族と教育問題を考える」、6期生は「ネット社会の病理」、7期生は「若者の居場所を考える」、8期生は「若者の幸福とは何か」でした。20期生の皆さんが何にするかは、アンケートをとり相談によって決めたいと思っています。

秋学期は卒業論文に向けて個人テーマを決め、それをレポートし討論することによって深めてゆきたいと思っています。

<卒業論文・4年次>

卒業論文は社会病理でも、病を扱った文化研究でもどちらでも結構です。400字詰めで30枚以上です。また4年生の終わりに「ゼミ卒業文集」を出す予定です。

<卒業論文例>

「里親制度の現在」「青少年期における自殺」「『ごみ問題』について」「日本の年金問題とその課題」「高齢化社会について」「一人っ子の心理を探る一村上春樹『国境の南、太陽の西』」「摂食障害という病について」「現代日本における環境ホルモン問題の現状とその対策」「地方における医療の問題」「ふるさと納税の考察」「リサイクル文化」「女性専用車両の考察」「いじめ問題の考察」などです。

◆ **応募学生に対する希望**

身近な社会問題に関心のある学生、ゼミコンパ、ゼミ合宿などにも意欲的に参加する学生、無断欠席や遅刻をしない学生を希望します。

◆ **成績評価方法**

卒業論文:卒業論文発表会での発表30% 卒業論文提出70%
原典研究Ⅰ:授業出席20% 授業での発表30% レポート50%
原典研究Ⅱ:授業出席20%授業での発表30%レポート50%

研究分野…病を通して見た日本近代の社会及び文化の研究

募集人数…15名前後

試験方法…筆記試験のみ

学科指定…なし

関連パッケージ…j 日本・アジア文化系

関連科目…日本・アジア文化論Ⅰ、日本・アジア地域論Ⅰ

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

近現代日本の文化と社会を考察する。

◆ **研究内容**

＜原典研究＞

樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』と森鷗外『阿部一族・舞姫』（いずれも新潮文庫）をテキストに、各作品を取り上げながら、明治・大正期（その比較のために幕末も含む）の家族や風俗、広く社会・文化について考察しましょう。

ゼミ員は各自、担当した箇所についての研究成果をレジュメにまとめたうえで口頭発表し、全員で討論をしながら相互に理解を深めます（以下の＜卒論・3年次＞の形式も同じ）。

＜卒論・3年次＞

3年次では、共通テーマである＜家族＞を通じて近現代の日本文化について考察します。

授業では、石川実編『現代家族の社会学 脱制度化時代のファミリー・スタディーズ』（有斐閣）をテキストに、日本の家族の変容過程を視野に収めながら、結婚や離婚、親子関係、高齢化社会といった現代家族が抱える家族の問題（婚活、事実婚、夫婦別姓、少子化、幼児虐待、ニート、DV、熟年離婚、孤独死、イクメン…）について考えます。

＜卒論・4年次＞

3年次の研究を基礎に、近現代日本文化に関わるテーマを各自がそれぞれ決め、研究計画の報告や中間発表などを経て、このゼミにおける研究の集大成である卒業論文を完成します。

＜卒業論文例＞

「現代のパラサイト・シングル」、「無縁社会をどう生きるか」、「『もののけ姫』から見る宮崎駿の思想について一人と自然の関係」、「『サザエさん』と日本の家族の変動—戦後日本におけるサザエさん一家の存在意義」、「夏目漱石の日本近代化観—『吾輩は猫である』を中心として」

◆ **応募学生に対する希望**

積極的にゼミ活動に参加し、発言できる学生を歓迎します。無断欠席などないように心がけてください。また各回のゼミで対象となる作品や章を事前に読んでおくことが、授業参加の前提です。

◆ **成績評価方法**

卒論：卒論や口頭発表、平常点などにより総合的に評価する。

原典研究Ⅰ：口頭発表や平常点などにより総合的に評価する。

原典研究Ⅱ：口頭発表や平常点などにより総合的に評価する

研究分野…近代日本の文学と文化

募集人数…10名程度

試験方法…筆記試験

学科指定…なし

関連パッケージ…・j 日本・アジア文化系

関連科目…・日本・アジア文化論、日本・アジア地域論など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

本ゼミナールの研究テーマは「ことば」です。「ことば」がいかなる機能を果たすのか、「ことば」が何を生み出すのかを考えます。

具体的には、主として言語統計学とテキストマイニング技術をもちいた研究を進めます。どちらも本稿をお読みのみなさんにはあまり馴染みのない語かもしれません。「言語統計学」は言語を計量的に計測することで、対象となるテキストの要約・推測を行うものです。テキストマイニングはテキストを機械的に分析して、その中身から価値を発掘（マイニング）するものです。最近だと、政治家の演説の分析や株価動向の分析などに使用されています。

現在、テキストマイニングは多く、AIとの関わりで語られます。AIは機械がヒトの手本をもとにして、ヒトの手には及ばない量の情報を処理するものです。テキストマイニングは、大量の文書を機械的に処理して、それらの文書が何を語るのかを読み解く技術です。その分析の際、AI技術を活用することがあります。

本ゼミナールでは、基礎的な統計学の知識を身につけ、テキストマイニング技術を習得することで、「ことば」が社会をどのように反映しているのか、あるいは「ことば」が社会をいかに形作っているのかを読み解くことを目的としています。

◆ **研究内容**

＜外国書研究／原典研究＞

文学作品を機械的に読解します。ヒトが読むために書かれたテキストをどうすれば計量化することができるのか？また、テキストを機械が読むとどうなるのか？

＜卒業論文・3年次＞

統計言語学に基づいたテキストマイニング技術の習得を行います。また、学外コンテストの準備、そして4年次に執筆する卒業論文に向けての研究を進めます。

＜卒業論文・4年次＞

3年次の研究内容をもとにして、卒業論文を執筆します。

＜卒業論文例＞（「ことば」に関わるものであれば、広く問題設定が可能です）

言葉・社会・人間の意識の相互作用

国語辞典の語釈の変遷にみる女性観の変化及び語釈変化の要因を軸として

- ・テキストマイニングによる「特定複合観光施設区域整備法」の分析の試み
- ・流行語の分類と使用回数の変化
- ・宿泊予約サイトのクチコミからみるユーザーの特徴分析
- ・中央競馬におけるレース後コメントの分析

◆ **応募学生に対する希望**

広く「ことば」に興味のあること。また、パソコンの利用に未習熟であっても、積極的に習熟したいという熱意があること。

授業では、windowsをOSとしたノートパソコンが必要です。この時点で「パソコンは苦手……」と考えるひともいるでしょう。ですが、2年修了時でほとんどパソコンに触れたことがない、という学生も本ゼミナールには多くいます。それが、4年修了時にはパソコンの使い方に習熟して卒業していきます。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：研究発表および卒業論文

外国書研究Ⅰ：研究発表

外国書研究Ⅱ：研究発表

研究分野…日本語学・日本文学

募集人数…10名程度

試験方法…身上書に基づいた面接（オンライン）を予定

関連パッケージ…日本アジア文化系パッケージ

◆ ゼミナールの研究テーマ

The Language of Cinema

◆ 研究内容

This course is a basic introduction to film: how to talk about it, how to write about it, and how to think about it. Topics for discussion will include mise-en-scene, framing, narrative structure, editing, the film industry, representations of gender and race in film, and Japanese film history.

You will frequently be asked to watch films (in Japanese or in English with Japanese subtitles) outside of class. A typical class will include small group discussions, individual presentations, individual writing activities, short lectures, and short videos. The class is mostly taught in English and reading materials will be in English, but they will be short. たまにディスカッション、講義に日本語で話します。

By the end of the seminar, you should be able to: 1) understand and use a new selection of vocabulary related to film; 2) have simple conversations about film in English; 3) write about film in English; and 4) be able to think, write, and speak about film in a way that moves beyond "I liked this movie" or "I didn't like this movie"

<卒業論文・3年次>

During the third year of the seminar we will focus on discussions, presentations, film viewing, and short writing projects. During the fourth year I will work individually with each of you to develop your 卒業論文. I am flexible about the topic (it just needs to be related to cinema in some way). In the past students have done very creative things for their 卒論--creating a short film and writing about the process of making that film, for example.

◆ 応募学生に対する希望

Highly motivated students who are comfortable with English. You do not need to be perfectly fluent (in the past students with very different levels of English have joined the seminar). You should, however, be willing to speak English during class.

◆ 成績評価方法

Class participation; presentation; quizzes; short writing assignments; graduation thesis 3000-4000 words in English (4th year)

研究分野…日本映画・日本のポップカルチャー・メディア論

募集人数…8～12名程度

試験方法…面接

学科指定…無し

関連パッケージ…無し

関連科目…なし

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

中国近現代史、現代中国論

中国を少しでも理解するためには、政治・経済・文化のいずれを問わず、政権政党にしてイデオロギー政党でもある中国共産党への理解が欠かせないのは、よく考えれば当たり前のことです。約1億人の党員を擁する中国共産党のイメージは、日本の政党とは全く異なります。中国人にとり、革命とは何なのでしょう？ 独裁とは何なのでしょう？ 一方、私たちが中国を相手に国際交流をするにも、ビジネスをするにも、中国共産党と無関係でいることができないのは、中国で多少長く生活すれば、誰でも気づきます。本ゼミでは、巨大政党中国共産党の背後にある歴史と思想について、中国社会にとっての内在的な意味を考察し、中国社会の全体像を把握しようと努めております。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

中国語で書かれた中国社会に関する文章をテキストとし、翻訳しながら理解を深めていきます。英語を基本的に使わない珍しいゼミです。なお、2023年度は温鉄軍『八次危機：中国的真实经验1949-2009』を読んでおります。

<卒業論文・3年次> <卒論論文・4年次>

卒業論文指導は3・4年生合同で行います。

春学期と秋学期はそれぞれ、中国共産党に思想面と歴史面からアプローチすることが課題です。2023年度春学期はマルクス『共産党宣言』、同『賃労働と資本』、レーニン『国家と革命』、ルカーチ「階級意識論」を読みました。秋学期は中国の現代史における（毛沢東や鄧小平らをはじめとする）重要な文章を輪読します。

<卒業論文例>

中国をはじめとする東アジアの現代、あるいは近現代史を基本軸に、自由にテーマを決めてください。

◆ **応募学生に対する希望**

- ゼミのための事前準備に時間をかけられること。
- 合宿には必ず参加すること。猛暑を避けた避暑地での合宿と、中国での合宿を予定。
- 食事なども含めたゼミ時間以外の交流の場に積極的に関わること。
- 中国語の未修者は事前に中国語を学習しておくこと。

◆ **成績評価方法**

ゼミ生それぞれの目標の達成度に応じて評価する。無断欠席は厳禁とする。

研究分野…中国近現代史、現代中国論

募集人数…5～10名程度

試験方法…身上書と面接

学科指定…無し

関連パッケージ…特に指定しない。

関連科目…ゼミ入室許可者に直接紹介する。

◆ ゼミナールの研究テーマ

ドイツ語圏の文化と歴史、社会

◆ 研究内容

第二次世界大戦後ともに敗戦国として再出発した日本とドイツは戦後目覚ましい経済復興を遂げた。しばしば両国は比較され共通点も指摘されるが、多くの点で大きな違いも存在する。このゼミナールではドイツの社会を主に文化的な面から見てゆくことで、日本を再確認するきっかけにしたい。

<外国書研究>

使用言語はドイツ語、内容は未定。できるだけ参加者の興味に合わせてドイツの歴史や文化、社会について書かれた平易な文献を使用する。テキストは主にドイツ語であるが、適宜、英語文献なども参照する。

<卒業論文・3年次>

春学期はドイツについて書かれた日本語の文献を輪読しお互いに議論する。秋学期は各自が自由に選んだ研究テーマについてレポートし、これら一連の作業を通じて次年度で執筆する卒業論文のテーマを決定する。論文執筆のためには必須の基礎的な知識、例えば、資料批判、文献・資料の検索、引用ルール、論述方法などを習得する。

<卒論論文・4年次>

卒業論文指導が中心になり、それぞれが自分の卒業論文テーマについて中間発表をして、他のゼミ員の意見も聞きながら論文内容を検討するという形をとりたい。テーマはドイツ語圏の文化に関連するものなら何でもかまわない。春秋学期あわせて2回程度の構想発表と中間報告を行い、最終的には20,000字程度の論文を執筆する。その他、全員で取り組む共通の課題も考えたい。

<卒業論文例>

「ソーセージをはじめとした肉料理中心のドイツにおける『食』の現状」「エネルギー政策の日独比較」「ドイツにおける都市環境政策」「スポーツ用品メーカー、アディダスとプーマ発展史」など。

◆ 応募学生に対する希望

基礎的なドイツ語文法を一通り習得した学生が望ましいが、何よりもドイツやオーストリア、スイスなどドイツ語圏の国々への強い関心と、ゼミ合宿を含めた授業への積極的な参加が求められる。

◆ 成績評価方法

卒業論文：授業での発表、研究への熱意、卒業論文の出来などから総合的に評価する。

外国書研究Ⅰ：研究への熱意と出席回数、レポート等から総合的に判断する。

外国書研究Ⅱ：研究への熱意と出席回数、レポート等から総合的に判断する。

研究分野…19世紀スイスドイツ語圏文学の発展と展開についての分析

募集人数…10名程度

試験方法…面接および筆記試験

学科指定…なし

関連パッケージ…k、j、l、c

関連科目…各文化論・地域論、国際文化特殊講義、表象文化論

◆ ゼミナールの研究テーマ

「リバティー」liberty は、フランス語 liberté、イタリア語 libertà とよく似ています。なぜなのでしょう。そして、これらは、ラテン語 libertas (libertatis) に由来し、そして最終的には、印欧祖語の *h₁leudh- にさかのぼることがわかっています。印欧祖語とはなんなのでしょう。

しかし、ドイツ語の「自由」は、Freiheit で、上記の言語とは違っています。それはなぜなのでしょう。ここでは、ロマンス語とゲルマン語という問題が出てきます。ゲルマン語、ロマンス語とはなんなのでしょう。

また、「自由」という日本語は、音読みですから、中国語なのでしょう。昔の中国語に「自由」(zìyóu) はありましたが、それは個人レベルの「心のまま」という意味でした。「権力の支配を受けない」という liberty の訳語に充当させたのは、幕末の日本で、そしてこの意味が中国語へ逆輸出されています。

さらに、「自分」(zì) という字は、「鼻」(bí) の字の一番上に含まれています。すると、「自」と「鼻」はなにか関係があるのでしょうか。

ちなみに、台湾では、台湾華語（國語）の場合、ローマ字表記（拼音）は使われません。「自由」は「P'ㄞ'ㄩˊ」と表記します。これを「注音符號」あるいは (bopomofo) といいます。台湾人のスマホや PC のキーボードはこの表音文字です。しかも、この表記法の方が、拼音より古いのです。

また、広東語の発音で「自由」は、“zi 6 jau 4” 「ジーヤウ」となります。北京語よりも日本語の「ジユウ」に似ています。なぜなのでしょう。また、この 4、6 という数字はなんなのでしょう。

というように、言葉の成り立ちや、起源、言語同士の関係、語源、文字、綴り字、発音、イントネーション、意味、文法（形態論、統語論）などを体系的に扱うのが言語学という学問です。

◆ 研究内容

<外国書研究>

イギリス英語で書かれた言語学の専門書 (David Hornsby, *Linguistics: A Complete Introduction, Teach Yourself*, 2014) をゆっくりと正確に読む訓練をします。外国語を正確に読んでいる人はなかなか少ないものです。

<卒論・3年次>

黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書）はきわめて易しく書かれている本ですが、これをていねいに読みつつ、話し合います。重点は話し合いの方にあります。

<卒論・4年次>

引き続き上記の本を読み、読了したところで、日本語で書かれた言語学の少し高度な資料を読むことにします。卒論のテーマを春には決め、夏には書き始めてもらいます。中間発表を秋冬に 2、3 回、最終発表を年末に行います。

<卒業論文例>

「ゴシック建築の精神とその変遷」、「トロイア戦争の英雄・神々から学ぶ人生哲学」、「日本人の宗教観の分析——日本人は本当に宗教的なのか」、「バードランド・ラッセルに学ぶ幸福の獲得」、「カタルーニャ国民の日に行われるデモの背景」、「退屈の分析」、「カエサルに見るローマ帝国の隆盛」、「SNS 社会の現状整理と今後の考察」。

◆ 応募学生に対する希望

ことばに深い関心のある諸君の参加を希望します。

◆ 成績評価方法

卒論：演習における意見、積極性、卒論そのもののクオリティー。

外国書研究 I、II：訳読の正確さ、意見の的確さ。

研究分野…比較言語学、台湾文化研究。

募集人数…10～15人前後。

試験方法…面接および筆記試験による。

学科指定…なし。

関連パッケージ…国際文化、言語関係。

関連科目…国際文化、言語関係。

教授 佐原 徹哉 【ヨーロッパ文化研究】

担当科目：歴史学、国際地域研究基礎論、ヨーロッパ文化論 V

◆ゼミナールの研究テーマ

東欧・ロシア・中東の地域研究、国際テロリズム、ポスト・グローバリゼーション、紛争の比較研究、難民研究、平和学・平和構築論

◆研究内容

＜外国書研究＞

比較紛争学に関する複数の論文や難民問題に関する雑誌や新聞の記事を読みます。希望があれば、ロシア語、トルコ語、現代ギリシャ語、ブルガリア語などのサブゼミを行います。

＜卒業論文・3年次＞

世界各地で激しさを増す紛争とテロの比較研究を行います。この分野の研究は近年、飛躍的に発展しており、従来の安全保障のイメージも大きく変わっています。はじめに、比較紛争学の基本的な文献を精読し、この分野に関する基本的な知識を身につけます。その後、ゼミ参加者の問題意識に応じて、具体的な研究テーマを選択し、共同研究の形で理解を深めて行きます。過去3年間の研究テーマは、イラク戦争、欧州難民問題、中央アジアのテロと地域協力でしたが、ヨーロッパ・中東・旧ソ連圏を中心に、東南アジアを含めた広い視野で研究を進めます。

課題文献は、以下の4点です。

エマニュエル・ウォーラステイン「史的システムとしての資本主義」(岩波書店)

サスキア・サッセン「グローバル資本主義と放逐の論理」(明石書店)

保坂修司「ジハード主義」(岩波書店)

菅原出「外注される戦争、民間軍事会社の正体」(草思社)

＜卒業論文・4年次＞

4年次には各自の卒業論文テーマに即して論文作成の指導を行います。

＜海外調査＞

毎年、トルコとギリシャとブルガリアの国境地域で調査を行なっています。参加するかどうかは自由です。ゼミの成績評価とも関係ありません。

＜卒業論文例＞

「上海協力機構（SCO）のテロ対策及び経済活動の連携について」「SADAT.incの考察～トルコの代理戦争政策を通じて～」「下からのイニシアチブによる UIC の発展と国際社会の介入」「日露天然ガスパイプライン構想のこれまでと失敗の原因」「ブルガリアにおける小型武器規制——規制・廃棄・レジーム形成の有効性をめぐって」「ナゴルノ・カラバフ紛争におけるアゼルバイジャンの勝因」

◆応募学生に対する希望

東欧・ロシア・中東・アフリカの歴史や現状に関心があること。国際テロリズム、平和構築、難民問題などについて関心があること。

◆成績評価方法

卒業論文：内容審査と口頭試問によって評価を決定する。

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度状況と授業態度と英訳能力から総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度状況と授業態度と英訳能力から総合的に評価する。

研究分野…歴史学、地域研究、平和学、紛争研究、紛争人類学、紛争社会論

募集人数…10名程度

試験方法…面接

学科指定…なし

関連パッケージ…k ヨーロッパ文化系、b 国際政治系、c 社会学系、d 国際経済系

関連科目…歴史学、社会人類学、比較社会学、国際政治、国際関係論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法、比較政治論、ヨーロッパ文化論、連関地域文化論、国際経済学、開発経済学

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

西欧における演劇と社会

◆ **研究内容**

本ゼミナールは、舞台芸術（演劇）から見た西欧の歴史や社会、そして社会における芸術の役割について議論していくことを目的としています。数多くの劇作品に触れ、かつ再現を試みることで、人間の根源にある願望とはなにかを掘り下げていきます。また、応用演劇や、自分と他者が共存できるような芸術にも触れることで、「演劇」の多様性についても探究する予定です。

<外国書研究>

演劇理論、演技論と実践、即興劇、シアターゲームに関する文献を読みます。

<卒業論文・3年次>

決められた劇作品（ギリシャ悲劇、シェイクスピア、カルデロン、イプセン、チェーホフなど）を各自が精読し、内容、時代背景のほか問題提起となるようなテーマを設定して発表し、全員で議論します。作品の一部の再現、関連する映像を鑑賞します。演劇史に関する文献を決めて輪読し、演劇の意義について議論します。また、共同研究、もしくは共同制作を実施します。

<卒論論文・4年次>

卒業論文の準備のための研究、資料収集、執筆、修正し、卒業論文として相応しい内容のものに仕上げていきます。

<卒業論文例>

「シャーロック・ホームズの推想法とその実現性」「アニメ巡礼とその経済効果」

「DH制はプロ野球の諸問題を解決できるか」「講談の連続物について」など

◆ **応募学生に対する希望**

思いやりのある人、自分の言葉に責任を持てる人、表現活動に関心のある人、演劇好きな人がいるととても嬉しいですが、最低限、文化や芸術に関心のある人。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：卒業論文執筆過程及び内容により評価を行う。

外国書研究Ⅰ：講読テキストへの取組み・貢献度・授業態度・英語能力から総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：講読テキストへの取組み・貢献度・授業態度・英語能力から総合的に評価する。

研究分野…スペイン語圏における演劇史・演劇理論についての分析

募集人数…10名程度（目安は10～15名程度です）

試験方法…学部指定の身上書・面接および筆記試験

学科指定…無し

関連パッケージ…「国際地域・文化論コース」の「ヨーロッパ文化系」パッケージ

関連科目…ヨーロッパ文化論、アメリカ文化論、外国文学など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

アメリカ大陸とヨーロッパを中心に20世紀から21世紀にかけての芸術論、美術、映画、文学、そして音楽について研究する。

◆ **研究内容**

芸術、とくに美術、映画、文学、そして音楽について、それをどう語るのか、研究書と実作に触れて考察する。自分の好きな作品について、ある程度の説得力をもった批評めいたことができるようになることを目標としたい。

<外国書研究>

好きな曲の歌詞、好きな映画のワンシーンのセリフ、好きな小説の1ページの原語に触れ、内容について考えてみたい。

<卒業論文・3年次>

論文の書き方、発表のしかた資料の集め方、資料の読み方の初歩をおさえた上で、レポートを書いてみる・輪読を行う・資料を探して読んでみる・議論をするといった実践に発展させていく。

内容としては、前期は文化論・現代芸術論を、後期は音楽論・映画論を取り上げる予定である。

<卒業論文・4年次>

ゼミでの学習と個々の興味をいかにして卒業論文に結びつけていくか、各自のテーマを絞り込み、文献を読み、卒業論文執筆への筋道を立てていく。

<卒業論文例>

「デジタル社会における音楽の未来と著作権法」、「ガルシア＝マルケスと村上春樹のワイルドな現実」「教会旋法とモード手法 マイルス・デイヴィスを通して」「《最後の審判》と人体描写」「「エモい」写真とは何か」「アートプロジェクトと地域活性化」「サブカルチャーにおけるディストピアの描かれ方」「家父長制から見るアイドル」「ロリータファッションとその精神について」「日本における公共空間の解体と「排除アート」」

◆ **応募学生に対する希望**

ジャンルは問わないが語るべき対象としての芸術（映画、文学、音楽、美術、写真など）に人並み以上の興味をもっているという自負があることを最低限の前提とする。さまざまな本を読んで興味を広げることに意欲的な学生、読書を楽しめる学生を歓迎する。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：輪講を中心とした授業準備20%、授業内議論への参加20%、課題20%、卒業論文に向けての口頭発表20%、卒業論文20%として評価する。

外国書研究Ⅰ：出席、予習に基づく授業での発表、議論参加、試験のそれぞれを25%ずつとして評価する。

外国書研究Ⅱ：出席、予習に基づく授業での発表、議論参加、試験のそれぞれを25%ずつとして評価する。

研究分野…現代ラテンアメリカ文学

募集人数…10名前後

試験方法…身上書（志望動機と自己アピール）と面接

学科指定…なし

関連パッケージ…各地域の文化系パッケージ

関連科目…各地域の文化論、国際文化特殊講義、表情文化論、外国文学、現代思想など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

フランスを中心に近現代ヨーロッパの歴史をグローバル・ヒストリーの視座から問い直す。

◆ **研究内容**

このゼミナールでは、歴史はどのようにして書かれ、誰が作り出すのか、という根本的な問いに向き合いながら、ヨーロッパの近現代史を研究します。この作業を通じて学生たちには、世の中に溢れている歴史（像）を批判的に検討する力を身につけ、卒業論文において歴史の「消費者」ではなく「生産者」になることを目指してもらいたいと思っています。

<外国書研究>

フランス語で書かれた論文や史料、メディア記事を輪読して解釈していきます。フランス語未修者であっても努力をすれば半年でしっかり読めるようになります。2023年度はフランスの高校三年生の歴史の教科書を材料に、移民や帝国主義、植民地主義に関する文章を読んでいます。

<卒業論文・3年次>

歴史とは何かを考え、歴史研究の方法論を学びます。そしてヨーロッパ近現代史のある共通テーマについて関連文献を読み、議論します。指定された文献を読むだけでなく、自分でテーマを決めて調べ、発表してもらいます。共通テーマは、ゼミ生の関心にそって毎年決めています。2023年度は「共生」、つまり多様な文化的・宗教的背景を持つ人々がどのようにしたら一つの国の中でともに生きていけるのかを考察しています。具体的には子どもや教育、ジェンダー、移民、ユダヤ人、ライシテ、戦争の記憶の問題などが議論の対象になります。秋学期は、風刺画とフランス文化について共同研究を実施する予定です。

<卒業論文・4年次>

卒論の執筆に向けて各自がテーマを設定し勉強を進めます。各回、担当者が自分の研究について中間報告をおこない、参加者全員で議論していきます。卒業論文で取り上げる地域・時代は自由です。担当教員と相談の上で、研究可能な主題を決定していくことになります。

<卒業論文の例>

「ジャンヌ・ダルクの表象の政治利用」「第二帝政期のパリ大改造」「フランスにおけるパックスと同性婚」「仏領インドシナにおける東遊運動」「デンマークにおける優生思想の歴史」「ケベックの間文化主義とライシテ」「フランスにおける「死」の変容」「ヨーロッパにおける男性の髪型の変化」「ツール・ド・フランスの歴史」「アフタヌーン・ティーの歴史とジェンダー」など。

◆ **応募学生に対する希望**

オリジナリティは知の真空地帯からは生まれません。先人の研究をたくさん読み吸収する意欲ある学生を望みます。また学生には、あらゆる事柄について先入観で判断せず、それでいて相対主義にも陥らず、過去と現在に真摯に謙虚に向き合える姿勢、「科学的」根拠に基づいた知識を身につけてほしいと願っています。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、卒業論文の質等から総合的に評価する。

外国書研究Ⅰ：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、試験から総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、試験から総合的に評価する。

研究分野…フランス近現代史研究（とくに政治、教育、宗教、ジェンダー、植民地に関して）

募集人数…10名程度

試験方法…学部指定の身上書を事前に提出の上、面接

学科指定…なし

関連パッケージ…k.ヨーロッパ文化系、a. 政治理論系、b. 国際政治系、d. 国際経済系、

l. アメリカ文化系など

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

地球環境問題をローカルな視点とグローバルな視点の両面から考察します。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

日本人にとってアメリカは、環境問題に対してあまり積極的ではないというイメージが強いように思われますが、自国の自然保護に関しては、極めて先進的で積極的だと言って間違いありません。A. レオポルドは、こうしたアメリカ的自然保護思想の一つの基盤を築いた人物で、中でもここに取り上げる「土地倫理」は、アメリカ人の自然観や倫理観を理解する上で、本質的な意味をもつ概念だと言えます。ゼミでは、レオポルドの"The Land Ethic"を精読し、アメリカ的な自然観ばかりでなく、我われ日本人の自然観や国土観についても考えて行くことにしたいと思います。

<卒業論文（3年次）>

- eco 検定（環境社会検定）

7月に実施される eco 検定を全員で受験します。

eco 検定では、環境問題全般にわたる問題が出題されますので、この検定試験に向けた学習は、広範な環境問題に取り組むための基礎知識を習得するために、非常に効果的です。また eco 検定は、履歴書にも記載できる社会的な資格ですので、就職活動にも有利な面があります。

- 卒論の準備

近年の就職活動状況を見ると、残念ながら4年次に落ち着いて卒論を仕上げる時間がとれない状況が続いています。そのため本ゼミでは、3年次の早い段階で卒論のテーマを決め、無理なく卒論をまとめることを目指します。

<卒業論文（4年次）>

4年次の卒論指導では、各時間一人から二人の担当者を決め、各担当者の卒論内容を進捗状況にそって発表して行きます。これにより、確実に卒論をまとめ上げることを目指すと共に、プレゼンテーション能力の向上にもつなげて行きたいと考えています。

<卒業論文例>

「ESG 投資と社会」

「地方公共団体の環境政策」

◆ **応募学生に対する要望**

このゼミは、3年前期に開講予定の柴崎が担当する連環地域文化論の講義内容と密接な関連を持ちます。したがってゼミの入室希望者には、この科目の履修を参加の条件とします。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：卒業論文の内容と、ゼミへの参加貢献度により評価します。

外国書研究 I：レポートにより評価します。

外国書研究 II：レポートにより評価します。

研究分野…環境思想、応用倫理学、科学技術社会論

募集人員…10名

試験方法…エントリーシート審査と面接試験を行います。ガイダンスへの出席（視聴）を、エントリーの条件とします。2次募集や3次募集が行われた場合にも、ガイダンスへの出席（視聴）がエントリーの条件となります。入室希望者は下記の URL にアクセスし、Web 上でエントリーの手続きを行ってください。

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~sibasaki/>

学科指定…特になし。

関連パッケージ…国際経済系パッケージ、国際政治系パッケージ

関連科目…連環地域文化論、環境経済学、比較政治論、人口学、日本政治史

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

遊戯、遊び、ゲーム、哲学、社会学、教育など

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

外国の書籍は、主題として「マルチ」を採用しており、遊戯論やゲーム文化を理解するためには、書籍や論文だけでなく、新聞や雑誌の記事、ボードゲームのルールブック、ゲーム自体、ゲームのレビュー、配信者やeSportsの実況動画など、多言語のマルチメディア資料を取り入れています。これにより、遊びやゲームをさまざまな観点から考察します。具体的には、哲学的、歴史的、実用的、社会的、教育的な側面からの分析を行います。しかし、理論だけでなく実績的な学びも重視し、一般的な遊び（鬼ごっこなど）、ゲーム（ボードゲーム、ゲーム機スマートフォンなどで）を体験し、また遊びやゲームを制作することも行います。これらの活動を通じて、遊びやゲームを用いて社会への貢献を目指します。

＜卒論・3年次＞

外国書研究で紹介されたトピックスの中から、自分の興味のある分野について調べて、課題解決用に遊戯やゲームを開発します。調べたことを適切なメディアで発表してもらいます。（文字、映像、動画、ゲームなど）。調べたことや開発した作品は卒業研究とつながるのが望ましいです。

＜卒論・4年次＞

卒業論文の指導。自分の選んだ課題に沿って研究をすすめてもらいます。

＜卒業論文例＞

現在の3年生の学生が研究しているトピックスは以下のとおりです。

「小学生向けのSDGsゲームの開発と効果について」「語学学習支援ゲームの開発と検証について」「日本のeSportsにおける差別問題と解決方法について」「遊びを通しての環境問題の意識向上について」「シリアスゲームジャムの開発と事例研究」「ゲーム業界と性差別について」など

◆ **応募学生に対する希望**

入室を希望する学生には、「ゲームや教育について研究したい」という共通の興味に加えて、以下のような理由が望ましい。1) 英語に興味を持つ学生。2) 研究テーマで社会と実際につなごうとする学生。3) 積極的にゼミ活動に参加しようとする学生。

◆ **成績評価方法**

卒論：卒業論文の完成度（もしくは、プロジェクトへの貢献度）ならびに授業での発表によって評価する。

外国書研究Ⅰ：発表、小論文の質による

外国書研究Ⅱ：発表、小論文の質による

研究分野…社会学と教育についての分析

募集人数…10名程度（目安は10～15名程度です）

試験方法…面接および筆記試験

学科指定…無し

関連パッケージ…c 社会学系 h スポーツ文化論、地域コミュニティ系

関連科目…特になし

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

イギリス諸島の様々な地域の文化について、特定の表象文化作家・作品を中心に分析研究する。イギリス諸島はそれぞれをネーションと考える大きな4つの地域、イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランドに別れ、それぞれの独自性を主張しているが、特に20世紀半ば以降から現代まで旧植民地からの移民が新たな文化模様を展開し、グローバル化しているとされる現代社会のひとつのモデルを提示している。イギリス諸島の様々な文化を、その混合、影響関係を含めて、とくに文字と視覚表象に注目して考察研究し、多価値多元的社会について考える。

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

本年度は Brexit と Covid19 の英国社会への影響に関する学術論文を読んでいるが、来年度は Pandemic と社会について、Covid19 を取り上げている新しい研究論文やジャーナリスティックな記事を読んでいく。

＜卒業論文・3年次＞

各自興味を持っているイギリス諸島に関わる文化表象作品を選び、それについて政治歴史的背景を踏まえて、分析発表する。毎回ひとつの発表に対して、ゼミ生がそれぞれリスポンドする材料をもちより、発表の後、議論する。各自二度の発表になるがそれをそれぞれ期末にまとめてレポートとして提出する。

＜卒業論文・4年次＞

3年次に発表したテーマを深め、前期では必要な参考文献を読破し、後期で卒業論文としてまとめる。

＜卒業論文例＞

『The Smith について。その反体制性を踏まえて』『イギリス文学における老人問題について』『英国の新聞状況』『様々なピーター・パンと時代性』『イギリス産業革命と画家ターナー』『パンクとファッション』『フリージャズ・ミュージシャン、ジョン・ベイリーの目指したこと』『ポッターとナショナルトラスト』『Brexit が齎す英国文化への影響、英国の漫才に着目して』など。

◆ **応募学生に対する希望**

自分が興味ある文化表象を、数多く経験してほしい。映画を見る、音楽を聴く、芝居を見る、様々な国のコマーシャルを見てみる、など、なんであってもいい、「ファン」としてではなく、その表象を客観化して大きな文化的背景の中で歴史社会政治を考慮しながら分析する心構えをもつことを希望する。また、自分が興味のあるものだけを見るのではなく、同時代の様々な文化表象にも注意を払ってほしい。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：テーマが明確であること、そのテーマに着いて必要な参考文献を踏まえて、独自の論が展開されているかどうかを確認し、引用の仕方、などにも留意して評価する。

外国書研究Ⅰ：知らない単語の意味のレベルの予習だけでなく、未知の用語、アイデアなどについて予習して、授業に望んでほしい。表層的な翻訳ではなく内容を読解しているかを評価する。

外国書研究Ⅱ：ゼミ生それぞれの研究テーマに即した文献をいくつか選ぶが、直接自分の論文に関係なくても、根底では繋がっているので、きちんと読解しているかどうかを評価する。

研究分野…イギリス諸島の社会と表象文化についての分析

募集人数…10名程度

試験方法…面接および筆記試験

学科指定…無し

関連パッケージ…c 社会学系パッケージ、k ヨーロッパ文化研究パッケージ

関連科目…歴史学 現代思想 国際政治学、メディアと世論 マスメディア論

◆ ゼミナールの研究テーマ

産業革命とイギリス文化

◆ 研究内容

<外国書研究>

次のような著作を必要に応じて読んでいきたいが、学生諸君の希望によって決めていくつもり。

* E. P. Thompson, *The Making of the English Working Class*, Penguin Books

* William Cobbett, *Cottage Economy*, Oxford University Press

* Raymond Williams, *Culture and Society*, Penguin Books

<卒業論文・3年次>

いかなる社会でも、その社会（あるいは時代）をまるごと刺し貫くある種の傾向があるものだ。政治や文化や経済は、それぞれが個々に動いているのではなく、相互に関連しながら一時代の環境を形成している。

本ゼミでは、産業革命以降のイギリスの文化（文学・美術・思想など）を中心に、現代に通じるさまざまな社会現象を多角的に考察していきたい。

入門書：角山栄他著『産業革命と民衆』（河出書房新社・文庫）

<卒業論文・4年次>

これまで身につけたイギリスの文化に関する知見をもとに、自らのテーマに絞りながら、文献／資料を読み、卒業論文を仕上げていく作業になる。

遅くとも、秋には、レジュメを作成してもらい、それに肉付けしていく形で卒業論文を完成させる。

◆ 応募学生に対する希望

ゼミでは、報告と討論を中心に進めていくつもりなので、とにかく積極的に取り組んでほしい。自分を「限定」せずにいろいろなことに広く興味をもってほしい。

◆ 成績評価方法

卒業論文：研究対象についての習熟度および考究度によって判断する

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度回数を重視。文章の背景を漏れなく調査することも要。

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度回数を重視。文章の背景を漏れなく調査することも要。

研究分野…イギリス19～20世紀の文学／思想

募集人数…12名

試験方法…面接と筆記

学科指定…なし

関連パッケージ…k ヨーロッパ文化系

関連科目…なし

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

本ゼミナールでは、アメリカ合衆国の社会、文化、地理を多角的に見つめながら、多文化の共生という重要なテーマについてクリティカルに考える。社会に内在する差別や格差構造について学ぶ作業を、さまざまな背景を持つ人びと、そして生きとし生けるものが、いかに共に生き延びていけるのかを探る営みにつなげていきたい。学生の卒業論文のテーマに関しては、アメリカ社会・文化に関するものであれば、自由に設定してよい。

担当教員の専門は人文・政治地理学である。政治経済・社会的な営みと地理空間の変化は、深い相関関係にある。そして、地理的な分離や排除は、アメリカ社会に根強い人種・階級差別や格差を構造的に再生産してきた。たとえば、原子力発電をテーマにアメリカの景観を読み込んでみると、ウラン開発の現場、原子力発電所、放射性廃棄物処分施設の建設（予定）地と、先住民族の生活圏が重なっていることがわかる。そして、産業廃棄物の処分場、大気汚染を引き起こす工場、都市部のバス・ターミナルをはじめとする「迷惑施設」は、黒人やラティーノが多く居住する場所に集中している。そのいっぽうでアメリカには、政治経済的な不平等の是正を目指し、多文化の共生が可能な空間を模索する動きも活発だ。授業では、こうした空間事象について紹介することもあるが、個々の研究テーマを地理学に限定することはない。

本ゼミナールでは、アメリカ社会・歴史・文化について広く学び、さまざまな背景を有する人びとが、ともに暮らしていくための豊かな社会のあり方について、皆で考えていきたい。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

アメリカ文化、地理、社会、歴史に関するテキストを読み、毎週課題を提出する。

<卒業論文・3年次>

論文の書き方についてのテキストを参照し、研究論文を書くノウハウを身につけると同時に、アメリカ合衆国について基礎的な知識を得る。毎週、主にアメリカ研究に関連する入門書、新書、あるいは専門書や論文を読む。またドキュメンタリーや映画を鑑賞することも多い。これを踏まえて、皆でディスカッションを行う。同時に、卒業論文のテーマを定めるために、各自が興味のあるテーマについてリサーチを行う。学年末には研究論文の提出が求められる。

<卒業論文・4年次>

各自のテーマに沿った卒業論文を書き進める。ゼミでは、各自が進行状況を報告し、多岐にわたる研究テーマを共有し、視野を広げてほしい。

<卒業論文例>

「マルコム X の思想」

「同性婚について ～ マサチューセッツ州を事例に」「メジャー・リーグ野球にみられるアメリカ文化」

「スターバックスの歴史とアメリカ文化」

◆ **応募学生に対する希望**

アメリカ合衆国の文化や社会を、批判精神をもって見つめる目を養いながら、地域研究を自由に楽しんでほしい。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：授業への参加 50%、論文 50%

外国書研究Ⅰ：レポート（毎週提出が求められる）100%

外国書研究Ⅱ：レポート（毎週提出が求められる）100%

研究分野…アメリカ合衆国の文化・地理・社会

募集人数…10名程度

試験方法…出願時に応募動機やアメリカ社会・文化についてエッセイを書いてもらい、それをもとに面接をおこなう

学科指定…なし

関連パッケージ…1 アメリカ文化系

関連科目…アメリカ文化論、アメリカ地域論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

アメリカ合衆国の歴史や社会について学ぶことで世界の現在や未来について考えます。

◆ **研究内容**

アメリカ合衆国を題材とした様々なドキュメンタリーや映画などを視聴し、皆でディスカッションします。アメリカは極端な国です。世界の人々を惹き付けてやまない楽しいテーマパークやセレブの豪邸が立ち並ぶエリアがある一方、そこから車で直ぐのところには貧困地帯が広がっています。アメリカには世界トップ水準の医療機関が数多く存在する一方で、健康保険がないために病院に行くこともできない人々が何千万人もいます。このようなアメリカで観察されているような極端な現象が、日本で見られる日も近いかもしれません。このゼミでは、アメリカで起きている様々な事象について学ぶことで現代社会を読み解く思考力を養います。

<外国書研究>

アメリカの政治文化などを扱ったアメリカの大学で広く用いられている入門的教科書を読みます。

<卒業論文・3年次>

アメリカ社会の様々な側面を取り上げたドキュメンタリーや映画などを視聴すると共に、アメリカの歴史や現代の諸問題について分担して発表をおこなってまいります。

<卒論論文・4年次>

3年次の学習をもとに、各自自分なりのテーマを見つけ、それに基づいて卒業論文に向けて準備してまいります。各自、何回か中間報告をしてもらい、それに対して、よりよい卒業論文になるよう指導します。

<卒業論文例>

卒業論文のテーマの例としては、「ディズニープリンセスの変遷についての研究」「RBGの伝記的研究」「スターウォーズにおける人種的多様性について」「テイラー・スウィフトにみるカントリー音楽の伝統」「トムクルーズはなぜ年をとらない（ように見える）のか」「FDRは真珠湾攻撃を知っていたのか」「野村吉三郎の対米人脈の研究」「アメリカのアウトレットモールの歴史」「ラスベガスはどのようにして眠らない町になったのか」「新渡戸稲造とアメリカ」などがあります。

◆ **応募学生に対する希望**

アメリカについて少なくとも何らかの関心のある学生を求めます。このゼミで学ぶことが自分とは異なるものに心を寄せることのできるきっかけとなればよいと思います。あと、名前を呼ばれたら「はい」と返事をしてくれる学生を優遇します。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：演習への貢献度50%、卒業論文50%

外国書研究Ⅰ：学期末試験40%、授業への貢献度60%

外国書研究Ⅱ：学期末試験40%、授業への貢献度60%

研究分野…アメリカ研究

募集人数…10名程度

試験方法…面接、簡単な筆記試験、身上書（学部指定書式）

学科指定…無し

関連パッケージ…無し

関連科目…無し

◆ ゼミナールの研究テーマ

The Meaning of Nonsense: Deconstructing American Humor and Culture

◆ 研究内容

This course examines meaning construction and social representation through American popular media such as literature, film, television shows, news publications, and podcasts. The central interest of this class is in deconstructing or carefully examining and understanding humor. Humorous expression often references “insider” knowledge, so we have difficulty understanding humor from other social groups or cultures. This difficulty happens even between related cultures, such as American and British, which share the same language. Such difficulty can also happen between people with generational or class differences. We will use semiotic analyses to understand how media influences us, and learn how to manipulate media to our own benefit. Semiotics is the study of how we construct meaning in the world; we transmit meaning not only through language, but also through body language, images, and action. You will lead class discussions. You will learn basic semiotics and social theory, as well as develop research skills. You will: 1) improve your ability to interpret English media; 2) think critically about social issues; and 3) improve your writing and communication skills.

<卒業論文・3年次>

◆ 応募学生に対する希望

Highly motivated students who wish to further use and strengthen their English skills through natural language media.

◆ 成績評価方法

Class participation; leading discussion; short writing; graduation thesis/portfolio 4000-6000 words in English (4th year)

研究分野…社会についての分析

募集人数…8～12名程度

試験方法…面接及び筆記試験

学科指定…無し

関連パッケージ…d 国際文化総合コース 1 アメリカ文化系パッケージ

関連科目…アメリカ文化論

教授 海野 素央 【異文化ビジネス論・異文化間コミュニケーション論】

担当科目：異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション

◆ ゼミナールの研究テーマ

米国、インド、タイ及び中国進出日系企業における異文化マネジメント、異文化ファシリテーター、異文化コーチ及び異文化メンターの育成。バイデン米大統領とトランプ前大統領のリーダーシップ及びコミュニケーションスタイル

◆ 研究内容

<外国書研究>

基礎理論の理解に重点を置く。使用する文献は、以下の通りである。

Adler, N. J. (2002). *From Boston to Beijing : Managing with a world View*. Cincinnati, OH: South-Western.

Cushner, K., & Brislin, R. (1996). *Intercultural interactions: A practical guide*. Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

Haghirian, P. (2012). *Successful cross-cultural management : A guide for international managers*. New York : Business Expert Press.

<卒業論文・3年次>

本ゼミは、文献研究を通じて、異文化ビジネス及び異文化間コミュニケーションに関する基礎理論並びに概念を学習すると共に、それらの理論を実際の場面に応用できる人材の育成に焦点を当てている。

海外進出企業では、①ものの見方や考え方、価値観が相違する現地従業員と効果的なコミュニケーションをとり、協働して業務を遂行することができる人材、②フェイス・トゥ・フェイスや遠隔の異文化会議を円滑に進めることができる人材、③現地従業員に自社流の仕事のやり方、考え方、価値観といった組織 DNA を浸透させることができる人材が、今、求められている。国内の企業合併や市町村合併においても、組織 DNA の異なる相手社員や職員と協働できる人材が不可欠である。そこで、それらの人材を育成するためのプログラムを開発した。

ゼミ員は次のようなテーマで個人プレゼンテーションを行う。

- (1) バイデン米大統領とトランプ前大統領のリーダーシップ及びコミュニケーションスタイル
- (2) 東京電力福島第一原発事故とリーダーシップ
- (3) トヨタ公聴会と異文化コミュニケーション
- (4) 米国進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
- (5) 中国進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
- (6) インド進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
- (7) タイ進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
- (8) 異文化ファシリテティング・コーチング・メンタリング (FCM)
- (9) 異文化ビジネス環境におけるモチベーションの向上と維持の仕方
- (10) 異文化トレーニング

ゼミ員は、小グループに分かれ、国際ビジネス・コンサルタントの模擬チームを作り、海外進出企業が抱えている文化的要因に基づく諸問題について解決策を案出し、チーム・プレゼンテーションを行う。また、チーム・ディベートも年2回実施している。企業人を交えたディスカッションやプレゼンテーションも実施している。

尚、本ゼミは、ゼミ員によるプレゼンテーションの形式で行い、その KSAA (知識・スキル・能力・態度) を向上させることも狙いの一つに置いている。

<卒業論文・4年次>

各ゼミ員は、「卒業プロセスカード」を作成し提出する。プロセスカードに基づき、研究テーマ、研究目的、研究方法、調査対象、参考文献などについてプレゼンテーションを行う。このプロセスを経て、研究成果のプレゼンテーションを実施し、そのフィードバックも含めて卒業論文を仕上げる。

<卒業論文例>

「インド市場と異文化マネジメント」「中国進出日系企業の効果的な異文化マネジメント」「タイ進出日系企業における人材マネジメント」「効果的なファシリテーションスキル」「異文化チームにおけるマネジャーの役割」「世界から見た日本人女性の社会進出」「北欧諸国から学ぶ『生き方』と『働き方』」「野球とベースボールの相違点～異文化的視点から～」 「プロ野球における異文化適応」「大学ラグビーにおける外国人コーチの役割」など

◆ 応募学生に対する希望

ゼミ活動を優先することができるモチベーションの高い学生を求む。「異文化理解とコミュニケーション」ないし「異文化摩擦とコミュニケーション」を履修していることが望ましい。

◆ 成績評価方法

卒業論文：

外国書研究Ⅰ：プレゼンテーション(80%) 試験(20%)

外国書研究Ⅱ：プレゼンテーション(80%) 試験(20%)

研究分野…2024年米大統領選挙、2022年米中間選挙、バイデン米大統領、トランプ前大統領及びオバマ元大統領のリーダーシップとコミュニケーションスタイル、東京電力福島第一原発事故とリーダーシップ、トヨタ公聴会と異文化コミュニケーション、異文化間交渉、異文化コラボレーター、異文化ファシリテーター、異文化コーチ、異文化メンター、異文化対応型リーダーシップ、異文化遠隔会議、海外派遣社員の KSAA、企業合併・統合と人材融合

募集人数…10名前後

試験方法…小論文及び面接

学科指定…なし

関連パッケージ…アメリカ文科系パッケージ

関連科目…異文化ビジネス概論、実践異文化ビジネス論

◆ ゼミナールの研究テーマ

「スポーツ and/or ジェンダー」

このゼミでは“スポーツ”や“遊び”“健康づくり”、あるいは“医療”など「身体」に関する幅広い課題について、主にジェンダー論の視点から批判的に考えていきます。ゼミ全体のテーマとしては“スポーツとジェンダー”を取り上げますが、各自の卒業論文のテーマはジェンダーやセクシュアリティ、スポーツ文化の枠内で自由に設定できます。

◆ 研究内容

<外国書研究>

スポーツやジェンダーに関する基本的な文献を輪読します。ここ数年では以下のような題材を取り上げました。

・Eddy, Stamper, Klarsfeld and Han (eds) "HANDBOOK on Diversity and Inclusion Indices", Edward Elgar Pub.

・Bruce (2017) "Sportswomen in the Media - An Analysis of International Trends in Olympic and Everyday Coverage", Journal of Sport and Gender Studies 15: 24-39.

2024年度の文献は新3年生による共同調査のテーマにもとづいて決定します。

<卒業論文（3年次）>

1) 春学期は以下の文献について担当を決め、読み込み、内容を整理して発表し、議論する、といった基本的な方法論を身につけます。また個々人のプレゼンテーションに加え、ディベートなども行います。

●佐藤監修 (2019) 『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』明石書店

●青野編 (2016) 『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』ミネルヴァ書房

●飯田・熊安・來田編著 (2018) 『よくわかるスポーツとジェンダー』ミネルヴァ書房

秋学期も上記文献の輪読を進め、春学期のトレーニングを継続しながら卒業論文のテーマを決めていきます。

2) 3年時には全員で共同調査を行い、学内外で報告することをタスクとします。

<卒業論文（4年次）>

3年次の作業を通じて決めた卒業論文のテーマについて関連情報の収集とその整理、ゼミでのプレゼン発表とフィードバックを繰り返し、一年間かけて各自のテーマに関する自分の主張を鍛えていきます。また卒業論文は「明治大学スポーツ文化研究」というゼミ紀要にまとめて発行します。

<卒業論文例>

- ・ジェンダー視点から検証した冬季オリンピックにおける新聞報道
- ・競技ダンスにおけるジェンダーバイアス
- ・東京オリンピック・パラリンピック大会が新聞記事の性的マイノリティ報道に与える影響
- ・女性のスポーツ実況に対するメディア内部の意識
- ・中央競馬における女性騎手減量制度の影響についての考察
- ・女性の瘦身願望 など

◆ 応募学生に対する希望

2022年度から3・4年生合同で行っています。また読書課題やグループワークなどゼミに向けての準備も少なからずあります。そうした労力に意味を見出せるかよく考えてからエントリーしてください。ゼミに関わる諸活動を最優先できることが条件です。1・2年次に教養基礎講座かジェンダー論を履修していたほうが望ましいです。

◆ 成績評価方法

卒業論文：出席参加状況（40%）、課題達成度（30%）、卒業論文進捗度（30%）

外国書研究Ⅰ：出席参加状況（40%）、課題達成度（60%）

外国書研究Ⅱ：出席参加状況（40%）、課題達成度（60%）

研究分野…スポーツ社会学、スポーツ・ジェンダー論

募集人数…10名

試験方法…エントリーシート、レポートおよび面接とグループ・ディスカッション

学科指定…指定しない

関連パッケージ…c, f, g, h, i, j, k, l

関連科目…スポーツ文化論、身体文化論、健康・運動科学Ⅱ

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

スポーツ文化論、スポーツによる地域振興、スポーツツーリズム

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

スポーツに関連する時事ニュース（英語）を読み解きながら、ディスカッションをおこないます。

＜卒業論文・3年次＞

地方都市におけるスポーツを活用した社会課題の解決を目指して、グループ研究に取り組みます。夏休みにはゼミ合宿を兼ねて、地方都市の自治体を実際に訪問して、フィールドワークを行います。また、スポーツ文化の意義を考える機会として、東京に所在するスポーツ関連博物館や施設の視察を行ったり、国立国会図書館の利用方法実習を行ったりします。最終的な目標として、未来への具体的な理想像を描き、その実現に向けてのアクションを考案します。

＜卒論論文・4年次＞

卒業論文執筆、そのための資料収集がメインになります。卒業論文テーマは、「スポーツ」「身体」「健康」のいずれかに関連することが条件となります。進捗状況を随時報告してもらいます。夏期休業中には、卒業論文の中間発表会を行います。1月中旬には最終発表会を行います。

＜卒業論文例＞

「義務教育における運動部活動の意義」「1964年東京オリンピックが日本社会に及ぼした影響」「車いすバスケットボールの歴史」「古代ギリシャにおけるオリンピック祭典競技」「パラリンピック大会の現状と課題」「サッカーから見る日韓文化の比較」「箱根駅伝テレビ中継の歴史とその影響」「国内エアラインとスポーツ」「テニス漫画が競技に与える影響」「明治大学体育会ラグビー部の歴史」「日本におけるスポーツツーリズムの推進」「ウイニングイレブンの取り組みに着目した E-sports の発展と課題」「甲子園のアルプススタンドの歴史社会学」「Jリーガーのセカンドキャリアに関する一考察」「スポーツを通じた地域貢献の一考察」「ディズニー映画を通して見た女性像の変遷」など

◆ **応募学生に対する希望**

スポーツを学問の対象とした場合、あまりにも複合的な要素が多く、その実態は捉えづらいです。研究手法として、自然科学的手法を用いることもありますが、本ゼミでは「文献学的方法」に限定します。ゼミ合宿は年2回（夏冬）、希望者は3年次にはスポーツ政策提言のインカレコンペにも出場します。それらの準備のためのサブゼミもあります。関連セミナー、学会等の学外活動に参加してもらうこともあります。協調性と積極性をあわせ持つ学生を望みます。みなさんは17期生になります。

「自ら考えて行動し、与えられた課題に対して予期されるレベル以上のものを創り上げる」

このような向上心とプライドを持った学生を求めています。勉学面においても、人間面においても日々研鑽して良い仲間関係を築いていきましょう。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：授業への取り組み度、貢献度、卒業論文を総合的に評価する。

外国書研究Ⅰ：授業への取り組み度、貢献度、期末課題の完成度を総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：授業への取り組み度、貢献度、期末課題の完成度を総合的に評価する。

研究分野…スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育

募集人数…10名程度

試験方法…身上書、事前課題、筆記試験、面接で評価する。

学科指定…無し

関連パッケージ…b, c, g, h, i, j, k, l

関連科目…スポーツ文化論、身体文化論、健康・運動科学Ⅱ、健康・運動科学Ⅲ

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

西アジア地域研究、カルチュラルスタディーズ

◆ **研究内容**

基本は西アジアの地域研究である。当該地域では混乱と破壊、スポーツなどのメガイベントの招致活動、国際関係の多極化など多様な注視すべき出来事が展開しており、その背景をきちんと理解することが本来の目標だが、パレスティナ人サイドが提唱したオリエンタリズムの問題、中東北アフリカ出身者が問題視されることの多い移民や難民の問題、ジェンダーと宗教言説、脱植民地（ポスト=コロンIAL）主義の思潮、覇権主義への異議申し立てなど、近代という「大きな物語」を見直すためのさまざまなトピックを扱うことで、西アジアという地域に限定しない研究への展開も見込まれる。

<外国書研究>

西アジア関係やカルチュラルスタディーズの英語の論文や記事を精読する。

<卒業論文・3年次>

本ゼミナールは、20期の卒業生を出し、2018年にいったん停止した専門演習を再開するものである。2023年度のゼミ生がいないので、2024年度は3年生だけとなる。

研究するトピックの設定→資料収集→そのトピックについての研究発表→質問やコメントで理解を深める、というのがゼミナールの基本的なかたちである。その過程で、資料収集の方法、プレゼンテーションの技術、話の内容を聴きとって建設的なコメントをする能力、などを養ってゆく。映像資料の利用、インタビューやフィールドワークなども条件が整えばとりいれてゆきたい。

<卒論論文・4年次>

卒業論文執筆に向けて、個々の研究を展開する（2024年には4年生は不在）。

<卒業論文例>

2018年以前には、「イランの自動車産業」「サッカーチームのマネージメントについて」「ドイツの移民問題」など多様なトピックの卒業論文が提出された。文化と政治経済の交錯する問題について考察を深めるテーマが推奨される。

◆ **応募学生に対する希望**

2024年に参加してくれるゼミ生の特質が今後の山岸ゼミの色を作ってゆくことになるだろう。教員としては、道なきところに道を作るパイオニア精神にあふれたゼミ生の参加を期待している。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：各学期において各自の設定目標に到達することと、最終提出物の内容で評価する

外国書研究Ⅰ：授業での貢献度と期末レポートで評価する

外国書研究Ⅱ：授業での貢献度と期末レポートで評価する

研究分野…西アジアについての学際的研究と文化理論

募集人数…10名程度

試験方法…面接、場合によってはエッセイの提出を求めるかもしれない

学科指定…無し

関連パッケージ…パッケージの枠を横断して勉強することが期待されるが、あえていえば j,k,f

関連科目…文化論概論、日本・アジア地域論Ⅳ、日本・アジア文化論Ⅳ